

2021（令和3）年10月31日（日曜日）に開催された外国籍県民かながわ会議（第11期・第7回）の議事録は次のとおり。

## 1 開会

（事務局）

- 10月22日にオープン会議開催の記者発表を行った。県の広報紙である「県のたより」11月号にも掲載した。
- 各委員に本日の会議資料と一緒にチラシを送付したので、各委員の知人に周知していただきたい。
- 本日は主にオープン会議当日のスケジュールや役割分担などについて、各委員と相談したい。

## 2 議題

### (1) 第6回会議の振り返りについて

（サリ アビシェク 委員長）

- 第6回会議では、懇話会委員から様々な御意見や御質問をいただいた。提言素案に追加すべきことや、実現の可否についてもわかってきた。
- 各部会では、前回の内容を踏まえて提言素案を修正し、オープン会議に向けた準備を進めていただいていると思う。
- オープン会議は、参加者に協議内容を説明し、更に色々な御意見をいただく場になる。この御意見を活用して、より良い提言にしていきたい。
- 本日の前半は、全体会議の時間を長めに取って、オープン会議当日の役割分担を決定したい。後半はいつもどおり、部会別の協議を行う。

### (2) 全体会議（オープン会議の役割分担）

（事務局）

- 資料2に示した当日のスケジュールや役割分担について、気になる点や追加・変更すべき点があれば伺いたい。

（各委員）

- 協議内容の説明に20分費やすのは長すぎるのではないかと。意見交換で長く話す方がいると、30分では色々な方の意見を聞けないかもしれない。資料を事前配付するのであれば、説明時間はもっと短くてよい。

じむきょく  
(事務局)

- ・ 参加者には、Zoom の URL をメールで連絡する際に資料を添付する予定。説明時間は10分間に短縮し、意見交換を40分に延ばすこととする。

かくいいん  
(各委員)

- ・ 司会とタイムキーパーを別々の人が務めると進行が難しくなるので、同じ人にした方がよい。→パックマン委員が立候補し、決定。
- ・ 協議内容の説明は、誰かが代表して行うのではなく、それぞれの提言素案を考えた各委員が行った方がよい。

じむきょく  
(事務局)

- ・ 各委員の提言を1つずつ説明していくと、10分に収まらないため、概要版の資料が必要と思われる。各委員の提言素案について、特に伝えたいポイントを2～3行にまとめた資料を用意してはどうか。

かくいいん  
(各委員)

- ・ 各部会で取りまとめたうえで、事務局に送付する。
- ・ 参加者からの質問は、口頭で受け付けると、長く話す人がいた場合に他の質問が受けられなくなる。チャットでの受付に限定し、その中から部会長が選んだ質問について、口頭で返す形にした方がよい。
- ・ チャットに限定するのは反対である。日本語が話せても書けない人がいるので、そういう方々への配慮も必要である。ただ、多言語でチャットに書いてよいことにすると、翻訳が必要になり対応が大変になる。
- ・ 日本語を書けなくても、口頭であれば日本語で質問できる方がいる。口頭でもチャットでも、質問を受け付ける形にした方がよい。
- ・ 時間内に答えきれない質問は、後日回答すればよいのではないか。

じむきょく  
(事務局)

- ・ 質問や意見は日本語で、口頭でもチャットでも受け付けることとし、部会長がピックアップした質問について、口頭で返す形とする。
- ・ 時間内に答えきれないほど多くの質問があった場合は、後日、県のホームページに回答を掲載するなどの対応を検討する。

かくいいん  
(各委員)

- ・ Zoom操作や記録係については、事務局に対応をお願いしたい。

じむきょく  
(事務局)

- ・ 了解した。

かくいいん  
(各委員)

- ・ オープン会議自体はオンライン開催だが、委員は当日会場に集まって実施する形にできないか。

じむきょく  
(事務局)

- ・ 会場確保や通信環境などの課題があるため、検討して連絡する。  
→ 通信機器の準備やカメラの角度など技術的な問題があるため、委員長と協議の上、集合形式では実施しないこととした。

### (3) 部会別協議 (発表内容の検討)

じょうほうぶかい  
【情報部会】

ようほうぶかいちやうだいり  
(楊芳部会長代理)

- ・ 全体会議で各委員の提言素案を2～3行にまとめることになった。  
各委員の提言で特筆すべきポイントを記載してほしい。部会でまとめて事務局に送るので、記載したら部会長か私に提出をお願いしたい。
- ・ 前回の会議から提言素案の内容を変更した方は、説明をお願いしたい。

(ケゼンガア エドワード ムインビ 委員)

- ・ パックマン委員と話し合い、2人の提言を1つにまとめることにした。
- ・ 県と市町村が集まる会議などで提言内容を取り上げていただき、ICTツールを活用した災害時の多言語情報提供の取組を推進してほしい。

(パックマン ジェイサン マシュー 委員)

- ・ 横浜から遠い場所に住んでいて情報を入りにくい外国人でも、かなチャンTVにアップされた動画であれば、いつでも誰でも視聴できる。
- ・ 日本での慣れない生活で困っている外国人にこの動画を紹介することで、神奈川県で暮らす外国人を支援したい。

ようほうぶかいちやうだいり  
(楊芳部会長代理)

- ・ タイトルに「多言語資料」とあるが、何を想定しているのか。テーマはICTツールだが、資料と書くと、紙の資料をイメージしてしまう。

(ケゼンガア エドワード ムインビ 委員)

- ・ ウェブページに掲載された情報や、ウェブページでダウンロードできる災害情報のPDFファイルなどを指している。

(楊 芳 部会長代理)

- ・ ICTツールであることが伝わるように、表現を見直した方がよい。また「神奈川県が各自治体と話し合う場を設けて」という記載があるが、具体的にどういう会議で共有してほしいといった想定はあるか。

(ケゼンガア エドワード ムインビ 委員)

- ・ 具体的にどういう会議があるかは把握していない。

(楊 芳 部会長代理)

- ・ 私の提言素案もそうだが、提言の中に具体的な会議名を盛り込んだので、事務局から情報提供してほしい。

(事務局)

- ・ 以下の会議について情報提供した。
  - ①市町村等連絡調整会議（日本語教育関係）
  - ②災害時市町村担当者会議（災害関係）
  - ③かながわ自治体の国際政策研究会（地域国際化の推進）

(楊 芳 部会長代理)

- ・ 仲田委員の提言について、追加した箇所を説明してほしい。

(仲田 シリワン 委員)

- ・ 学校と区役所におけるボランティアの募集方法を追記した。また、ボランティアに対する金銭的な支援についても追記した。

(楊 芳 部会長代理)

- ・ 今の提言素案だと、県に何をしてほしいのかが分からない。県に対する提言なので、県に何をしてほしいのかを書かないと、県もどこの部署でどう対応したらよいか困ってしまうと思う。

(仲田 シリワン 委員)

- ・ 今は学校や市役所にボランティア募集の担当者がいないので、そういった仕組みづくりと、金銭的な支援をお願いしたい。

よう ほう ぶ かいちょうだいり  
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 県に何をしてほしいかを、内容の1番最初に記載するとよいと思う。

(ティンキーコ ミリアム 委員)

- ・ 横浜市内ではYOKEなどが通訳派遣をされていて、神奈川県であればM I Cかながわに人材が確保されている。こういった既存の制度を利用して広報するということであれば、県も応援してくれると思う。新しい人材を探すより、今ある人材を活用した方がよいと思う。

よう ほう ぶ かいちょうだいり  
(楊 芳 部会長代理)

- ・ リディア委員の提言素案についても、県に何をしてほしいのかを書き足した方がよい。

(ティンキーコ ミリアム 委員)

- ・ 川崎市の外国人市民代表者会議で外国人向けオリエンテーションをやっていて、県独自で小学校入学前のオリエンテーションをできればよいと思っている。それをリディア委員の提言に追加してもよいか。

よう ほう ぶ かいちょうだいり  
(楊 芳 部会長代理)

- ・ 問題ない。リディア委員と連名で提言素案をまとめていただきたい。

## 【人権・教育部会】

は さんう ぶ かいちょう  
(河 相宇 部会長)

- ・ 提言素案の前回からの修正点について話をするか、オープン会議の人権・教育部会の説明方法について話し合うか、どちらがよいか。

(サリ アビシエク 委員)

- ・ オープン会議が間近なので、そのことについて話した方がよいと思う。

やました じゅーりあ まゆみ いいん  
(山下 ジューリア 真由美 委員)

- ・ 教育①の資料に「愛川町で生活保護世帯、生活困窮世帯の学習支援教室のコーディネーター」という記載があるが、神奈川県全体での取組なので、「愛川町」という文言を削除してもらいたい。

は さんう ぶ かいちょう  
(河 相宇 部会長)

- ・ オープン会議の配付資料をこれから修正することは可能か。

じむきょく  
(事務局)

- 可能である。

は さんう ぶかいちょう  
(河 相宇 部会長)

- オープン会議では、特に伝えたいポイントを各委員から話した方がよいと思う。概要について私から話をした後、簡単な自己紹介とポイントの説明で、一人30秒くらいで話を進めていく感じでどうか。
- 当日、参加者が事前に配付資料を読んでいるか確認し、読んでいる人が多ければ、意見交換の時間をより長く取りたいと思う。

きむ えよん いいん  
(金 愛蓮 委員)

- 教育－①には5人の名前が載っているが、これは誰が説明するのか。誰かがまとめて説明した方がよいのではないか。

は さんう ぶかいちょう  
(河 相宇 部会長)

- 唐委員がまとめて整理してくれているので、お話されてはどうか。

とう とくりゅう いいん  
(唐 徳龍 委員)

- 何分間で話したらよいか。7つの提言が含まれており、1分は短い。

きむ えよん いいん  
(金 愛蓮 委員)

- 全体会議で、説明の時間を10分に短縮することになった。教育－①は分量が多いので、2分で見積もったら10分に収まるのではないか。

(ファム ルー アンジー 委員)

- 教育－①は学校教育と学校教育以外の2つに分かれている。これを別々の人が説明してもよい。学校教育以外については私が説明する。

とう とくりゅう いいん  
(唐 徳龍 委員)

- 私が学校教育について説明する。後半はファム委員にお願いする。

は さんう ぶかいちょう  
(河 相宇 部会長)

- せっかくの機会なので、できれば各委員1つずつ話をした方がよい。金委員、外国人の地方参政権についてお話いただけるか。

きむ えよん いいん  
(金 愛蓮 委員)

- 了解した。

(河 相宇 部会長)

- ・ 山下委員は話したい部分はあるか。

(山下 ジューリア 真由美 委員)

- ・ 公立小中学校向けのオンライン教材の作成について話したい。

(河 相宇 部会長)

- ・ 先ほど学校教育については唐委員にお任せすることになったが、冒頭の部分は山下委員から説明する形とする。
- ・ 各提言を3行にまとめたものをパワーポイントにするといった作業は、事務局で調整してもらえるか。

(事務局)

- ・ 3行の概要版を送ってもらえれば、事務局で情報部会と合わせて、資料としてまとめたいと思う。ただ、教育-①は7つの内容が含まれているため、3行にまとめるのは難しいのではないか。

(河 相宇 部会長)

- ・ 各委員と話し合いながら、もう少しコンパクトにまとめられるのか、まとめられなければ7つに分けて記載するか、検討する。

(サリ アビシエク 委員)

- ・ 質問への回答は、各提言の担当者が行うということでしょうか。

(河 相宇 部会長)

- ・ 基本的にそれでよいと思う。もしその場で答えられなかったら、事務局を通じて後日回答しますといった形にすればよいと思う。

(サリ アビシエク 委員)

- ・ チャットの場合はどうするか。その場ですべてに回答できない可能性がある。そこも含めて後で回答しますと伝えた方がよいのではないか。

(河 相宇 部会長)

- ・ 冒頭で、いただいた御意見すべてに時間内に回答できない可能性もあるため御容赦ください、といった説明をした上で進めたいと思う。

(以上)